



# crossing cafe



Vol.17

2024.12.1

発行:スペースベン  
毎月1日 321部発行  
(webでも配信中)  
https://bit.ly/3U8LdnL

## TOPIC

### 「南部弁の日」今年も開催!

みんなして笑いながら  
南部弁ばのごしていぐべし!  
なっす!

南部弁が好きな仲間このみなさんによる、笑って、へずなく、感動のパラエティショーが今年も開催。今年は何んな南部弁を愛する人達が集まるのか乞うご期待! みんな来てけるな、一緒に楽しむべし!

### 「南部弁の日」

とき 2024年12月15日(日) 開演14:00 (開場13:30)  
ところ SG GROUP ホールはちのへ (八戸市公会堂文化ホール)  
入場料 一般前売 ¥3,000(当日¥3,500)  
高校生以下 ¥1,500(前売・当日とも)

### 「わけもの歌謡ショー!!」

とき 2024年12月15日(日) 開演18:00 (開場17:30)  
ところ SG GROUP ホールはちのへ (八戸市公会堂文化ホール)  
入場料 セット前売 ¥1,500 ※「南部弁の日」と一緒に購入の場合  
「わけもの歌謡ショー!!」のみ前売 ¥2,000(当日¥2,500)

### 【チケット取扱】

八戸ポータルミュージアム はっち・ラピア・デーリー東北チケットセンター

### teket(ネット予約・購入)

https://teket.jp/1122/41785

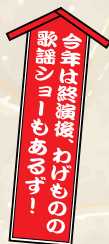


〈お問い合わせ〉

スペースベン 田中勉 ☎080-6025-0990(ショートメッセージ可)  
Fax.050-3588-8350 e-mail owner@spaceben.com

※出られない時は折り返しお電話します

※お急ぎの際はSMS(ショートメッセージ)をご利用ください



### 〈関連企画〉

2024 正部家種康氏を偲んで  
第12回 南部弁の日スペシャル

### はっちがずっぱど南部弁

とき 2024年12月1日(日)  
ところ 八戸ポータルミュージアム はっち

「南部弁で遊ぶびゃ〜 笑うびゃ〜」

時間:12:00-16:00 会場:1階 はっちひろば

定員:100名 先着順

爆笑バトルトーク

「なぜ若者は南部弁を使わなくなったのか?」

時間:16:30-18:00 会場:2階 シアター2

定員:100名 要整理券(はっちインフォメーションで配布中)

俊文書道会による

「南部弁でザワザワかましい展覧会」

日時:11/28(木)~12/2(月)9:00-21:00

(12/2は18:00まで)

会場:2階 ギャラリー2

## 〈theater information〉



2024年度パフォーミングアーツ公演事業

PANCETTA(パンチェッタ)演劇公演

PANCETTA TOUR 2024 “声”

【日時】2024.12.7(土)

①14:00~15:30 ②18:00~19:30

2024.12.8(日) ③11:00~12:30

※12/8アフタートークあり(20分程度)

【場所】はっち 2階シアター2

【料金】一般:前売り2,200円/当日2,500円

中高生:1,000円 小学生:500円

【チケット取扱】はっち インフォメーション

※はっちホームページからweb予約も可

【問合せ】はっち ☎0178-22-8228

https://hacchi.jp

一宮周平による、作品ごとにメンバーを集めたパフォーミングユニット公演。人間の身体を駆使し、表現の可能性を示唆する。



白マドの灯x上映会をつくらうワークショップ参加者

### 「マイ・ブロークン・マリコ」

【日時】2024.12.14(土)

開場13:30/上映開始14:00

【場所】SG GROUP ホールはちのへ

(八戸市公会堂文化ホール)

【料金】一般1,500円/高校生以下無料

※高校生以下は学生証の提示が必要

※100席限定

【問合せ】白マドの灯

info@shinomado.com

第24回文化庁メディア芸術祭マンガ部門新人賞  
受賞作品の映画化。八戸ロケが行われている。



フォーチュンシアター

### 「即興演劇ワークショップ」

【日時】2024.12.22(日)

【コース】①基本コース 10:30~12:30

②専科コース 13:30~16:30

※①のみ または①&②の受講

【ファシリテーター】

佐藤拓之(フォーチュンシアター東京)

【会場】スペースベン

【料金】一般/①&②:¥4,000

①のみ:¥1,000

学生/①&②:¥1,000

①のみ:¥500

1,000円ごとに1スタンプ、スタンプ10個で1,000円割引。

(学生は500円ごとに1スタンプ、10個で500円割引。)

【申込】080-3144-6753(担当:外館)



【WS詳細】

定期的に開催中のインプロワークショップ。

## 〈スペースベン 12月の予定〉

### FANS 予定 第1609~1612回

毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

一般前売500円/大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)

### 12月20日(金) 佐藤拓之 即興演劇 vol.6「おひとりさま」

料金/一般1,000円 学生500円(当日各100円増) ※特別番組で料金が通常と違いますのでご了承ください

「だべり場」「かたり場」「ほだれ場」随時開催しています

■12/27(金) 勝手に忘年会 19:30-21:00 予定

〈Dance Lesson〉

■毎週火曜日 20:15-21:45/KAZU HIPHOP DANCE SCHOOL

■最終水曜日 19:30-20:30/SEGA HIPHOP

■毎週土曜日 16:30-18:00/BRE FAM HOUSE DANCE HARUクラス

〈古典戯曲を味わう会〉

国内外の古典戯曲から参加者で選んだ作品を読み、楽しむ企画です。

■毎月第1・3水曜日 14:00-15:30 予定。別役実「ボンコツ車と五人の紳士」他を予定

※参加費¥100。Zoomにて開催中。日時等変更になる場合があります。

### 〈メンバーズカード〉

チャージ可能なプリペイドカードで、入場の際ご提示いただく  
と前売料金で入場いただけます。また、どの公演でも入場料  
から3%値引きいたします。チャージは現金でもクレジットカードでも可能です。



### 〈キャッシュレス決済〉

「PayPay」「ID」他、カード払いに対応しています。

●各詳細は080(6025)0990にお電話でご確認ください

## 〈Free Column〉

### 劇場の 片隅から

文/植田 祐介  
(劇団かしの会)

芝居が縁で20年程前から日本舞踊に関わっている。歌舞伎の立ち廻り(いわゆる殺陣)や舞踊を舞う主役の脇役である「取り巻き」を演じている。日本舞踊は歌舞伎から派生した舞踊で、この取り巻きも一般的には歌舞伎の役者が務め、一般人が演じるのは少ない。会主のご主人が元歌舞伎座の役者ということもあり、これらの技を教えていただいている。舞台人として日舞に関わられた事はとても勉強になっている。でも一番の収穫は着物や袴を一人を着られるようになった事かもしれない。



特別寄稿

劇団やませ令和6年本公演

## 『漁火見える丘ありて』—若き日の三浦哲郎— を観て

文/中田 絢子



去る9月22日、八戸市公民館にて、劇団やませ令和6年本公演『漁火見える丘ありて』—若き日の三浦哲郎—を観劇した。

八戸が誇る芥川賞作家、三浦哲郎氏(以下、敬称略)。繊細に揺れ動き、時代の波に翻弄されながらも文学に向き合おうともがく若き日の哲郎を、高坂大誠氏が瑞々しく演じ切った。

東京に進学した哲郎は、一時は文学の道を志そうとするが、家族を支えるために大学を中退して八戸に戻り、白銀中学校の教師となる。

新任教師時代の哲郎は、子どもと同じ目線に立って、学校を楽しい場所にしようと心を砕く良き教師であった。友との冗談交じりの語りや、地域の人との心温まる交流がコミカルに描かれ、思わず笑ってしまうようなほほえましい場面もあった。

しかしその一方で、哲郎は己を蝕む『血の呪縛』に人知れず苦しんでいた。

三浦家の長姉と三姉は、白い髪に赤い瞳——『しろっこ(先天性色素欠乏症)』に生まれ、その病は遺伝性であり、遠からず命を奪うとされていた。そして同じ血が流れる兄たちは失踪し、長姉と二姉は自ら命を絶

つ。「あの家は、破滅の血が流れている『自殺の家』だ」という口さがない噂が哲郎の心に影を落とし、哲郎は文学に心惹かれながらも、己の進むべき道を——生き方を決めあぐね、悩み続ける。

そして迎えたラスト。哲郎の元に、三姉きみこが尋ねてくる。先天性色素欠乏症のため虚弱で弱視の彼女は、しかし琴の先生として身を立てて逞しく生きる決心をし、そして哲郎の背中をも力強く押す。

『書くん、てっちゃん。あんたの思うとおり、みんな書いて』

血の呪縛という見えない力に怯えていた哲郎が、他ならぬ血を分けた姉の言葉によって呪縛から解放され、本気で文学と向き合う覚悟を決める。

まだ戦争の名残が色濃く、死が身近にあった時代。そして、今よりも『家』の呪縛が強かった時代に、『破滅の血』から逃れようともがいていた哲郎は、文学を『己を観察し、理解する。そのために書き出す』ことと見つける。悲壮な運命に翻弄されながらも『その血と真真正面に向き合って、転がり回って書く』と腹を決めた、その強烈な原体験こそが芥川賞作家三浦哲郎を形作ったのだと力強く語りかけてくる、圧巻のラストであった。

二時間弱の舞台を通して、主演の高坂氏の瑞々しい演技が光った。繊細な心を持ち、もがきながら己が進むべき道を模索する、その木訥で真摯な哲郎の生き様を全身で表現していた。

また、三姉きみこの存在も外せない。魅力的な透明感と力強さが絶妙なバランスで両立しており、終盤のキーパーソンとしての役目を見事に果たしきっていた。

全体を通して圧倒的な存在感を放っていたのは、二姉貞子。既にこの世になき身という特殊な役どころであったが、圧巻の演技力と幻想的な演出によって、いかに貞子の存在が哲郎の心の奥深くに根付いているかが伝わってきた。哲郎にとって、時代の波に呑み込まれ、あるいは儚く散っていった兄妹の存在こそが、数々の作品を生み出す原動力であったのだと深く感じさせられた。

また、劇団やませの魅力のひとつといえば、地元根付いた作品ならではのおもしろさであろう。役者の口から愛らしい方言が飛び出す度に、客席が笑いに包まれる。当時の学校や地域の様子などが語られると、懐かしそうに頷く姿も見られた。

名前しか知らなかった郷土の偉人が、立体感やぬくもりをもって身近に感じられ、地元を誇りに思うことができる、血の通ったお芝居。まさに地元の人々に愛される、郷土の物語である。

今後も、時代を繋ぎ、世代を繋ぐ唯一無二の舞台を楽しみにしたい。



■劇団やませ令和6年本公演  
「漁火見える丘ありて」  
—若き日の三浦哲郎—  
2024.9.21(土)・22(日)  
SG GROUP ホールはちのへ  
(八戸市公会堂文化ホール)

## ●筆者況

先日、プチ断捨離で着ていない服をようやく処分しました。まだまだ物はたくさんあるけれど、少し押し入れのスペースが空いてスッキリ。私だってやる時はやるんだぞ！問題は、「やる時」が五年に一回程度しか訪れないこと。次はいつになるのやら……



## FANSで上演・LIVEをやってみませんか？

ジャンルは問いませんので、まずはお気軽にご相談ください



Director

田中 勉

〒031-0081 八戸市柏崎1-11-8  
mobile 080(6025)0990 Fax.050(3588)8350  
e-mail owner@spaceben.com

<https://spaceben.com/>

crossingcafe

fanscross

crossingcafe

crossingcafe

@fanscafe



## FANSってなんだ!?

小劇場「スペースベン」にて、毎週金曜日の夜7時30分から、約30分の芝居を楽しんでいただく企画です。芝居に限らずライブ・ダンス等、ジャンルの枠にとらわれず、金曜日の夜には“ここで何かおもしろい事をやっている”という場になればと思います。なお、料金は特別番組以外全て前売り500円、学生は200円です(当日100円増し)。上演の場を求めている方、刺激を求めているあなた、ご連絡お待ちしております。